

《みはら園 食事形態》

名称	食事の形態
ペースト食 (ごっくん期)	普通食または、やわらか食をミキサーにかけるペースト 粒なし 必要に応じて濃度を調整する
マッシュ食 (ごっくん期)(もぐもぐ期)	やわらか食をすり鉢で潰したもの ペーストより水分がないもの 粒あり
やわらか食 前期(もぐもぐ期)	舌で押しつぶせる柔らかさ、 <u>形を残したもの</u> (注1)
やわらか食 後期(かみかみ期)	舌で押しつぶしができ、歯茎ですりつぶしをひきだせるもの (注1)
移行食 (かみかみ期～ぱくぱく期)	やわらか食を基本とし、歯茎(奥歯)でつぶせる硬さの「挽肉料理」「コロッケ」「かぼちゃ料理」などについては、普通食を提供する (バナナの薄切りを前歯で噛み切り咀嚼できること)(注1)
普通食(幼児食)	子どもの口腔状態に合わせ、大きさ、硬さを考慮した普通食

ごっくん期(5～6か月頃) もぐもぐ期(7～8か月頃) かみかみ期(9～11か月頃) ぱくぱく期(12～18か月頃)

注1) 衛生管理上調理室内で硬さ、大きさの対応をするが、やわらか食、移行食については、個々の最適な形態に合わせるため、手元調理を行う場合がある。

刻み食について：刻んだものは、口の中で散らばり、誤嚥の原因になることがある。また、咀嚼せず、そのまま飲み込む傾向があるため、みはら園の給食では、咀嚼を促す「やわらか食」または、「移行食」から開始し、普通食へと移行できるように支援している。